

## 令和4年度 第2回花見川区支え合いのまち推進協議会議事要旨

日 時 令和4年12月14日(水) 午後3時～午後4時30分

場 所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数	17人
欠席委員数	8人
オブザーバー	1人
傍聴人	0人
事務局	11人

### 【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 会議の公開について
- 4 議題  
(1) 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)中間報告について  
(2) 推進協だより(第24号)原稿案について
- 5 報告事項  
(1) 花見川区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)について
- 6 閉会

### 【2】議事要旨

委員定数25名のうち、8名の欠席を確認し開会した。

原田委員長挨拶後、オブザーバーである あんしんケアセンターさつきが丘 田中氏の紹介を行った。

事務局より、会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だより等への掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、また自治会等を通じ地域住民や公共の場に公開させていただく旨、了承を得た。(今回傍聴人0名。)

#### 議題

- (1) 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)中間報告について

以後の議事進行は原田委員長により行われた。

社会福祉協議会各地区部会(①検見川地区部会から②花園、③朝日ヶ丘、④犢橋、⑤こてはし台中学校区、⑥幕張・武石、⑦花見川、⑧花見川第2、⑨こてはし台、⑩天戸中学校区、⑪さつきが丘・宮野木台、⑫幕張本郷中学校区、⑬畑)の順で、資料1に基づき報告。

なお、以下の地区部会 ⑧花見川第2、⑫幕張本郷中学校区 は欠席のため事務局である千葉市社会福祉協議会花見川区事務所(猪野)から説明。

その後、オブザーバーである あんしんケアセンターさつきが丘 田中氏より、地域と連携した取組事例の報告が行われた。

#### 【あんしんケアセンターさつきが丘の取組事例】

- ・あんしんケアセンターさつきが丘においては、さつきが丘中学校地区と犢橋中学校地区が担当エリアとなっている。コロナ禍によって、地域活動の一部に制限がある状況が続いているが、当センターでは令和4年4月より、第2層生活支援コーディネーター(以下「第2層SC」)が配置されたため、第2層SCを中心に、コロナ禍においても可能な限り、地域との連携を図っている。
- ・花見川区では、全てのアんしんケアセンターに第2層SCが配置されており、今まで関わりのなかった地域の諸団体にも後方支援ができてきている。
- ・当センターの活動例として、シニアリーダー体操教室・サロン・散歩クラブなどへの参加、地区部会のイベント参加や町内自治会の会合への参加など。
- ・コロナ禍により、地域活動を中止し、現在に至っても再開のメドが立っていない地域の諸団体に対し、再開に向けての助言をさせていただくこともある。
- ・コロナ前ではあるが、さつきが丘・宮野木台地区部会、社会福祉協議会、生活支援コーディネーター

- と協働で、地域ケア会議を開催し、多世代間の交流や地域の見守りについて話し合いを行った。
- ・今年度は、地域を絞り、宮野木台4丁目の地域課題における地域ケア会議の開催を予定している。
  - ・犢橋地区部会と連携し、交通不便地域の地域ケア会議も開催した経緯があり、そこから出た課題に対する取組として、社会福祉協議会、いきいきプラザ、民児協と協働し、買い物に不自由している高齢者の移動支援の実施、また移動販売にも繋げることができている。
  - ・その他、民児協定例会への参加、地域での認知症サポーター養成講座の開催なども行っている。

続いて、原田委員長より、「花見川区内社協地区部会別人口構成、動向」について説明があった。

## 議題

### (2) 推進協だより (第24号) 原稿案について

千葉市社会福祉協議会花見川区事務所 (猪野) から「資料2 推進協だより (第24号) 原稿案」について説明があった。

資料2の原稿案は、1面が「第5期花見川区支え合いのまち推進計画」についての紹介、2面・3面・4面上段については、「令和4年度第1回花見川区支え合いのまち推進協議会」の様、各地域での活動状況の紹介、4面下段は、花見川区健康課で実施している取組内容を掲載する予定である。

なお、発行時期は、令和5年3月を予定している。

## 報告事項

### (1) 花見川区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況 (令和3年度) について

事務局 (石野補佐) から「資料3 花見川区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況 (令和3年度)」について説明があった。

この資料については、令和4年7月25日に行われた「令和4年度 第1回花見川区支え合いのまち推進協議会」でご審議いただき、その際指摘のあった内容を修正したのち、令和4年8月24日に地域福祉課に提出したものである。

なお、こちらについては、令和4年12月22日に開催される「第2回千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」で報告される予定である。

## <質疑応答>

### 原田委員長

議題 (1) について、何か質問はありますか。

皆さまからの報告から、コロナの影響で十分な活動ができなかった地域が多いように思われる。しかし、今後もコロナの影響は続くことが予想されるので、活動をどのように進めていくかを考えていかなければならない。

### 橋立委員

約2年半、活動を中止し、その間に担い手側も地域住民も高齢化が進んでいる。今年度、いくつかの事業を行ったが、参加者自体も減っている。地区部会の人員も増やし拡充していきたいという思いはあるが、うまくいかず苦慮している。他の地域でよい事例などがあれば、ご教示いただきたい。

### 原田委員長

どこの地域も担い手の高齢化が進んでいて、若い方の地域活動への参画には苦労している状況かと思う。今は、元気な高齢者がなんとか頑張っている状況かと思うが、何かよい方法はないか。

### 齋藤委員

当地区では、来年度からの活動再開に向けて、この1月～3月を準備期間としようということにしている。まず、コロナ前に担い手として活動していた方に引き続き活動が可能なのかを確認することからスタートとする。その次に、活動の中身を再チェックし、3月中には模擬の集い場を開催するという手順をとる予定である。担い手のモチベーションの低下が懸念されるが、参加者からの「開催してほしい」という声を参酌し、取り組んでいきたい。

### 蜂巣委員

地域全体が活動を自粛している中で、地区部会だけ活動するという訳にもなかなかいかない。地域内で夏祭りができるような状況かどうかというのが一つのガイドラインになるのではないかと思う。地域内で、我々も声をあげ、若い世代の方も引き込んで、まず地域の祭りが開催できるような状況をつくっていけば、自ずと地区部会内の機運も高

まっっていくように思う。

原田委員長

また、地区部会の活動は、必ずしもイベントを行うということではないと思うので、見守り、助け合い、挨拶などの日常の体制づくりにも努めていきたいと思っている。

今後は、コロナ禍での地域活動が求められてくるかと思われる。コロナ対策を十分取りながら、活動の推進に努めていただき、コロナ前の活動を取り戻せるよう、努めていただきたい。

金子副委員長

また、担い手の高齢化は大きな問題である。若い方にシフトしていく以外に方法はないので、その手法も真剣に考えていきたい。

地域では、コロナ禍でも一生懸命頑張っている方も多い。

コロナで中止にするよりも、実施した方が楽というものもあり、断腸の思いで中止にしているイベントもある。

原田委員長

何もかもコロナで中止ということがないよう、我々も考えていかなければならない。

鈴木委員(さつきが丘)

若い方を取り込むということは、とても大事だと痛感している。当地区では、青少年育成委員会と連携し、保護者会の経験者などにも福祉活動推進員になってもらえるよう説得を行い、実際に推進員になってもらっている。

高齢者も若い方も、コロナ禍でも直に会って話す機会も求めているということを感じている。学校があれば若い方もいないことはない。若い方から見習うことも多いので、世代を超えていっしょに活動できたらいいと思う。

原田委員長

そのとおりだと思う。学校があれば、PTAや子ども会があるので、そういう方々を大事に育て、地域活動に入ってきてもらうというのは、大切なことかと思う。

折原区長

去年は、防災に関する活動はかなりできていた。今年は、食事を伴う活動以外は内容を工夫するなどして再開していただいているという印象を持っている。

地域での活動においては、いろんな戸惑いやご苦勞もあったかと推察される。人材不足については、育成に向けた講習など、行政もいっしょになって検討していきたいと考えている。また、事業を増やすというよりも今行っている事業を効果的にやっていくということが大事かと思う。そのうえで、区役所を含め関係機関もいっしょに協力させていただければと思っているので、よろしくお願ひしたい。

原田委員長

議題(1)の質疑応答はこれで終了

原田委員長

議題(2)について、何か質問はありますか。

原田委員長

推進協だより(第24号)原稿案で犢橋地区部会の「フードパントリー」の記事を検討しているという話があったが、フードパントリーという言葉はあるのか。

事務局(猪野)

食べ物に困っているような方に食品を無料で配布する活動をフードパントリーと呼んでいる。犢橋地区部会では、コロナで子ども食堂が開催できないことから、ふるさと農園で子どもたちに向けてこの取組を実施している。

原田委員長

議題2の質疑応答はこれで終了。

(閉会)

原田委員長が閉会挨拶し、午後4時30分、花見川区支え合いのまち推進協議会を閉会した。